

# アップグレードガイド

CA Application Delivery Analysis Multi-Port  
Monitor

バージョン 10.1



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、  
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。



# 目次

---

第 1 章: はじめに	7
第 2 章: 現在のバージョンの確認	11
第 3 章: Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード	13
MTP 10.0 から 10.1 へのアップグレード	14
最新ソフトウェアのダウンロード	14
MTP バージョン 10.1 の前提条件の検証	16
前提条件ファイルのアップグレード	18
Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード	21
オペレーティング システムのアップグレード	24
アップグレードの成功の確認	26



# 第 1 章: はじめに

---

このドキュメントでは、CA6000 MTP アプライアンス上で **Multi-Port Monitor** ソフトウェアをバージョン 10.1 にアップグレードする方法について説明します。アップグレードするバージョンに応じて、アップグレードプロセスには、以下のアップグレードが含まれる場合があります。

- Vertica データベースの Vertica 6.1.2 へのアップグレード
- Napatech ドライバパッケージの 13.0.6 へのアップグレード
- オペレーティング システムの CentOS 5.11 へのアップグレード

**重要:** **Multi-Port Monitor** は、オペレーティング システムおよび **Multi-Port Monitor** ソフトウェアのアップグレード中にトラフィックを監視しません。

ソフトウェア アップグレードが完了した後 :

- データ監視が再開します。アップグレードを実行する場合は、**Multi-Port Monitor** 上の負荷が少なく、理想的には通常の操作がシャットダウンされる保守ウィンドウ内で行うことをお勧めします。
- バージョン 9.2 以前からアップグレードする場合、既存データは、バージョン 10.0 で導入された新しい Vertica データベーススキーマにマイグレートされます。このアップグレード後のデータ移行タスクは、**Multi-Port Monitor** 上の負荷が少ない方が早く完了します。合理的な時間内に完了するには、50 億を超えるデータベース行がマイグレートされないようにします。
  - この制限を超える日単位パーティションは、データベースの行が 50 億を下回るまで古いものから順にページされます。
  - 典型的な処理負荷を持つ **Multi-Port Monitor** の場合、データマイグレーションは 8 ~16 時間以内に完了します。負荷が高い場合、データマイグレーションは 24 時間以内に完了します。

**Multi-Port Monitor** および CA ADA をアップグレードする場合、以下の点を考慮してください。

- MTP リリースをスキップしないでください。MTP 10.1 に対してサポートされている唯一のアップグレードパスは、MTP 10.0 から MTP 10.1 へのアップグレードです。それより前の MTP リリースを使用している場合、まず MTP 10.0 にアップグレードしてから、次に MTP 10.0 から MTP 10.1 にアップグレードする必要があります。
- CA ADA をアップグレードする前に、**Multi-Port Monitor** アプライアンスをアップグレードします。



- CA ADA を少なくともバージョン 9.3 に更新することをお勧めしますが、Multi-Port Monitor 10.1 の機能および機能性との完全互換を実現するには CA ADA バージョン 10.1 が推奨されます。
- CA ADA バージョン 10.0 および 10.1 は、Multi-Port Monitor バージョン 9.2 以下とは互換性がありません。CA ADA マネージャをバージョン 10.0 または 10.1 にアップグレードする場合、MTP を同じバージョン (10.0 または 10.1) にアップグレードする必要があります。



## 第 2 章: 現在のバージョンの確認

---

すべての新しい CA MTP アプライアンスは、MTP ソフトウェア バージョンのラベルが付いたソフトウェア インストール CD で出荷されます。元の CD が見つからないか、後でアップグレードが実行された場合、MTP ソフトウェアのどのバージョンからアップグレードしているかを判断することは重要です。

インストールされた Vertica データベース バージョンに対してクエリを実行することにより MTP ソフトウェア バージョンを判断できます。

次の手順に従ってください：

1. MTP アプライアンス上のコマンドプロンプト ウィンドウで、以下を入力します。

```
ls /opt
```

/opt/vertica ディレクトリがない場合、MTP はバージョン 1.0 です。

2. Vertica バージョンを判断します。以下を入力します。

```
rpm -qa | grep vertica
```

Vertica バージョン:

MTP バージョン:

vertica-3.5.9.0

2.0

vertica-4.0.17-0

2.1

vertica-4.1.9-0

2.2

vertica-5.0.11-0

9.2

vertica-6.1.2-0

10.0 または 10.1

MTP バージョンの 10.0 と 10.1 を区別するには、CentOS バージョンを確認します。

```
cat /etc/redhat-release
```

- MTP 10.1 は CentOS リリース 5.11 (Final) を返します。
- MTP 10.0 は CentOS リリース 5.9 (Final) を返します。

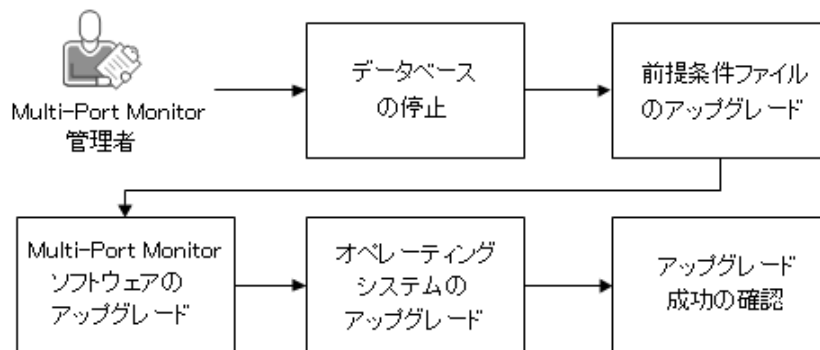


# 第 3 章: Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード

**重要:** アップグレード前には、CA Multi-Port Monitor アプライアンスのハードウェアステータスを必ず評価してください。ステータスが [低下] 状態である場合は、CA Multi-Port Monitor のアップグレードをお勧めしません。MTP アプライアンスのヘルスを確認するための手順の詳細については、「[Assess Hardware Status Guide](#)」を参照してください。

以下の図は、Multi-Port Monitor ソフトウェアをアップグレードするプロセスを示しています。

Multi-Port Monitor のアップグレード方法



次の手順に従ってください:

1. [最新ソフトウェアをダウンロードします](#) (P. 16)。
2. [前提条件ファイルをアップグレードします](#) (P. 18)。
3. [Multi-Port Monitor ソフトウェアをアップグレードします](#) (P. 21)。
4. [オペレーティングシステムをアップグレードします](#) (P. 24)。
5. [正常にアップグレードされたことを確認します](#) (P. 26)。

## MTP 10.0 から 10.1 へのアップグレード

MTP バージョン 10.0 からバージョン 10.1 にアップグレードするには、MTP 10.1 前提条件イメージ、MTP 10.1 ソフトウェア イメージ、CentOS 5.11 アップグレード イメージをインストールします。これらは、*CA Application Delivery Analysis Multi-Port Monitor* 製品ページ (<http://support.ca.com>) で提供されています。

**重要:** MTP リリースをスキップしないでください。 サポートされている唯一のアップグレードパスは MTP 10.0 から MTP 10.1 です。 それより前の MTP リリースを使用している場合、まず MTP 10.0 にアップグレードしてから、次に MTP 10.0 から MTP 10.1 にアップグレードする必要があります。

## 最新ソフトウェアのダウンロード

最新のソフトウェアがあることを確認するため、[CA サポート](#)のダウンロードセンターにアクセスします。

.ISO ファイル ダウンロード	Contains
CA ADA Multi-Port Monitor r10.1 xxxx - アップグレード前提条件	mtp-prereqs-10.1.xxxx.image
CA ADA Multi-Port Monitor r10.1 xxxx - アップグレード	mtp-10.1.0.xxx-release.image および「アップグレードガイド」と「リリースノート」
CA ADA Multi-Port Monitor r10.1 xxxx - <b>CentOS 5.11</b> アップグレード	mtp-10.1.xxxx-CentOS_5.11-upgrade.tgz (このファイルは大きいのでダウンロードに時間がかかる可能性があります。)
CentOS DVD 用 CA CEM TIM 9.x	third-party-xxxx.image および tim-complete-xxxx.image (これらのファイルは、CA APM TIM を使用している場合のみ必要になります。)

次の手順に従ってください:

1. [CA サポート サイト](#)にアクセスします。
2. *CA Application Delivery Analysis Multi-Port Monitor* の [Product Downloads] ページに移動します。
3. 必要に応じて、最新の .iso ファイルをダウンロードし、**Multi-Port Monitor Web** インターフェースにアクセスする **Web** ブラウザからアクセス可能なフォルダ場所に抽出します。

## MTP バージョン 10.1 の前提条件の検証

Multi-Port Monitor をバージョン 10.1 にアップグレードする前に、以下の要件が満たされていることを確認します。

### CA Multi-Port Monitor のバージョンが 10.0

アップグレードはバージョン 10.0 のみからサポートされています。それより前のリリースからアップグレードするには、バージョン 10.1 へのアップグレードに進む前に、以下の手順に従ってバージョン 10.0 にアップグレードしてください。

Multi-Port Monitor をバージョン 10.0 にアップグレードする前に、以下の要件が満たされていることを確認します。

### CA Multi-Port Monitor のバージョンが 2.1 以降

バージョン 2.1、2.2、9.2 からのアップグレードがサポートされています。Multi-Port Monitor のバージョン：

#### バージョン 1.0 または 2.0

Multi-Port Monitor バージョン 10.0 にアップグレードする前に、バージョン 2.1 にアップグレードします。

#### バージョン 2.1

以下の手順を実行します。

- 前提条件ファイルをバージョン 2.2 にアップグレードし、次にバージョン 9.2 にアップグレードし、最後にバージョン 10.0 にアップグレードします。
- Multi-Port Monitor バージョン 10.0 にアップグレードします。
- CentOS 5.9 にアップグレードします。

#### バージョン 2.2

以下の手順を実行します。

- 前提条件ファイルをバージョン 9.2 にアップグレードし、次にバージョン 10.0 にアップグレードします。
- Multi-Port Monitor バージョン 10.0 にアップグレードします。
- CentOS 5.9 にアップグレードします。

バージョン 2.2 からアップグレードする場合、Multi-Port Monitor ソフトウェアをバージョン 9.2 にアップグレードする必要はありません。



## バージョン 9.2

以下の手順を実行します。

- 前提条件ファイルをバージョン 10.0 にアップグレードします。
- Multi-Port Monitor バージョン 10.0 にアップグレードします。
- CentOS 5.9 にアップグレードします。

### (オプション) CA CEM TIM のバージョンが 9.1、9.5、または 9.6

CA CEM TIM バージョン 9.1、9.5、または 9.6 がインストールされている場合、Multi-Port Monitor 10.1 にアップグレードした後も引き続き正しく動作するはずです。

### CA Application Delivery Analysis のバージョンが 9.3 または 10.0

CA ADA は少なくともバージョン 9.3 に更新することをお勧めします。Multi-Port Monitor バージョン 10.1 機能および機能性と完全互換を実現するには、CA ADA 10.1 が推奨されます。

### アプライアンス上に 48 GB の RAM

アプライアンスが RAM 16 GB の古いバージョンである場合は、メモリ増設について [CA テクニカル サポート](#) にお問い合わせください。

### 1 ログイン ユーザのみ

アップグレード中に Multi-Port Monitor Web インターフェースにログインしているユーザが 1 人だけであることを確認します。管理者権限を持つユーザとしてログインします。

### (オプション) 手動で変更されているシステム ファイルのバックアップ

以下のシステム設定ファイルを手動で変更している場合は、アップグレードプロセスを開始する前にそれらを必ずバックアップします。

- /etc/inittab
- /etc/php.ini
- /etc/httpd/conf/httpd.conf
- /etc/snmp/snmpd.conf
- /etc/snmp/snmpd.options

## 前提条件ファイルのアップグレード

この手順を使用して、前提条件ファイルをアップグレードします。  
Multi-Port Monitor バージョン 2.1 または 2.2 からアップグレードしている場合、前提条件ファイルを 10.0 または 10.1 に直接アップグレードすることはできません。Multi-Port Monitor のバージョンが以下の場合：

### バージョン 10.0

前提条件ファイルを 10.1 にアップグレードします。

### バージョン 9.2

前提条件ファイルを 10.0 にアップグレードしてから、10.1 にアップグレードします。

### バージョン 2.2

前提条件ファイルを 9.2 にアップグレードし、次に 10.0 にアップグレードしてから、10.1 にアップグレードします。

### バージョン 2.1

前提条件ファイルを 2.2 にアップグレードし、次に 9.2、10.0 の順にアップグレードしてから、10.1 にアップグレードします。

以下の手順に従います。

1. 管理者権限を持つユーザとして Web インターフェースにログインします。
2. [環境管理] - [Maintenance] - [Database Status] をクリックします。
3. データベースの [Stop] リンクをクリックします。  
データベースが停止したら、前提条件ファイルをアップグレードすることができます。
4. Web インターフェースの [環境管理] - [Upgrade] をクリックします。
5. バージョン 2.1 の前提条件ファイルをアップグレードしている場合は、前提条件ファイルをバージョン 2.2 にアップグレードします。
  - a. [Browse] をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
  - b. MTP-prereqs-2.2.xxxxxx.image を選択します。
  - c. [開く] をクリックします。
  - d. [Upgrade] をクリックします。

Multi-Port Monitor によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

- このページから移動しないでください。
- アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されない場合は、[CA テクニカル サポート](#)にお問い合わせください。

6. バージョン 2.2 の前提条件ファイルをアップグレードしている場合は、前提条件ファイルをバージョン 9.2 にアップグレードします。

- a. **[Browse]** をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
- b. MTP-prereqs-9.2.xxxxxx.image を選択します。
- c. **[開く]** をクリックします。
- d. **[Upgrade]** をクリックします。

Multi-Port Monitor によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

- このページから移動しないでください。
- アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されない場合は、[CA テクニカル サポート](#)にお問い合わせください。

7. バージョン 9.2 の前提条件ファイルをアップグレードしている場合は、前提条件ファイルをバージョン 10.0 にアップグレードします。

- a. **[Browse]** をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
- b. MTP-prereqs-10.0.xxxxxx.image を選択します。
- c. **[開く]** をクリックします。
- d. **[Upgrade]** をクリックします。

Multi-Port Monitor によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

- このページから移動しないでください。

- アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されない場合は、[CA テクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

8. バージョン **10.0** の前提条件ファイルをアップグレードしている場合は、前提条件ファイルをバージョン **10.1** にアップグレードします。

- a. **[Browse]** をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
- b. **MTP-prereqs-10.1.xxxxxx.image** を選択します。
- c. **[開く]** をクリックします。
- d. **[Upgrade]** をクリックします。

**Multi-Port Monitor** によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

- このページから移動しないでください。
- アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されない場合は、[CA テクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

## Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード

Multi-Port Monitor ソフトウェアをバージョン 10.1 にアップグレードするには、実行中のバージョンが 10.0 である必要があります。10.0 より前のバージョンを実行している場合は、バージョン 10.1 にアップグレードする前に、以下の手順に従ってバージョン 10.0 にアップグレードします。

MTP バージョン 10.0 のアップグレードプロセスは、Vertica データベーススキーマを更新します。データベーススキーマのアップグレードが発生するには、MTP バージョン 10.1 にアップグレードする前に、古いバージョンからバージョン 10.0 にアップグレードする必要があります。MTP 10.1 アップグレードインストーラはデータベーススキーマを更新しません。

**バージョン 10.0 からバージョン 10.1 へのアップグレード：**

**重要：** Multi-Port Monitor は、Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード中はトラフィックを監視しません。

以下の手順に従います。

1. インストーラプログラムを開始します。
  - a. Web インターフェースの [環境管理] - [Upgrade] をクリックします。
  - b. [Browse] をクリックし、セットアップファイルを解凍した場所に移動します。
  - c. MTP-10.1.0.xxxx-release.image を選択します。
  - d. [開く] をクリックします。
  - e. [Upgrade] をクリックします。

Multi-Port Monitor はソフトウェアをアップロードし、ファイル形式を検証し、アップグレードを開始します。進捗状況を示すメッセージが表示されます。

**注：**

- ソフトウェアアップロードが完了するまで [Upgrade] ページから離れないでください。
- アップグレードプロセスにより Apache が再起動されると、404 (Page Cannot Be Displayed) エラーが表示される場合があります。Web ブラウザを更新して [Upgrade] ページに戻ります。

以前のバージョンからバージョン 10.0 にアップグレードします。

この手順を使用して、Multi-Port Monitor ソフトウェアをバージョン 2.1、2.2、または 9.2 からバージョン 10.0 に直接アップグレードします。たとえば、バージョン 2.2 を実行している場合、バージョン 9.2 にアップグレードしてからバージョン 10.0 にアップグレードする必要はありません。

**重要:** Multi-Port Monitor は、Multi-Port Monitor ソフトウェアのアップグレード中はトラフィックを監視しません。

以下の手順に従います。

1. インストーラプログラムを開始します。
  - a. Web インターフェースの **[環境管理]** - **[Upgrade]** をクリックします。
  - b. **[Browse]** をクリックし、セットアップファイルを解凍した場所に移動します。
  - c. MTP-10.0.0.xxxx-release.image を選択します。
  - d. **[開く]** をクリックします。
  - e. **[Upgrade]** をクリックします。

Multi-Port Monitor はソフトウェアをアップロードし、ファイル形式を検証し、データベーススキーマのアップグレードを開始します。進捗状況を示すメッセージが表示されます。

**注:**

- ソフトウェアアップロードが完了するまで **[Upgrade]** ページから離れないでください。
  - アップグレードプロセスにより Apache が再起動されると、404 (Page Cannot Be Displayed) エラーが表示される場合があります。Web ブラウザを更新して **[Upgrade]** ページに戻ります。
2. データベーススキーマのステータスを参照します。

データベーススキーマのアップグレードが正常に完了すると、**[Upgrade]** ページに「アップグレード完了」を示すメッセージが表示されます。確認メッセージが表示されない場合は、[CA テクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

データベーススキーマのアップグレードが完了したら、データ移行が自動的に開始し、バックグラウンドで実行されます。

注: データベーススキーマのアップグレードの完了後、[Analysis] ページにデータが表示されない場合は、ブラウザキャッシュをクリアしてからブラウザプログラムを閉じます。ブラウザを再起動し、Web インターフェイスにログインして [分析] ページを表示します。

3. データ移行のステータスを参照します。
  - a. [環境管理] - [System Status] をクリックします。
  - b. [Database Status] の下にあるメトリック データベースのデータベースステータスが「UP」で、データ移行が進行中または失敗したことを示すメッセージが表示されます。

移行が完了すると、移行ステータスは表示されなくなります。データ移行が失敗した場合は、[CA テクニカル サポート](#) にお問い合わせください。

4. (推奨) **nqcapd** プロセスを停止します。**nqcapd** を停止すると、パケット収集が停止されます。それによりアプライアンス上の負荷が軽減され、アップグレードおよびデータ移行が完了するのに必要な時間も短縮されます。
  - a. Web インターフェイスで、[環境管理] - [Processes] をクリックします。
  - b. プロセスのリストで **nqcapd** プロセスを選択し [Stop] をクリックします。
5. データ移行が正常に完了したことを確認します。
  - a. [環境管理] - [System Logs] をクリックします。
  - b. **upgrade\_projections\_YYYYMMDD.log** ファイルを選択します
  - c. [View last entries] をクリックします。
  - d. 以下のログ エントリは、データ移行が正常に完了したことを示します。

```
13:00:02 Vertica DB Projection Refresh: In progress
13:15:04 Vertica Projection Refresh : ipmetrics_fact_des1 drop complete.
13:15:04 Vertica Projection Refresh : DB capture complete.
13:15:04 Removed crontab job to monitor Vertica projection refreshes.
```

注: **upgrade\_projections\_YYYYMMDD.log** ファイルは、`/opt/NetQoS/logs/upgrade` にあります。

6. オペレーティングシステムを CentOS 5.9 (MTP バージョン 10.0 の場合) または CentOS 5.11 (MTP バージョン 10.1 の場合) にアップグレードすることが可能になりました。

ソフトウェア アップグレードが完了した後：

- データ監視が再開します。アップグレードを実行する場合は、**Multi-Port Monitor** 上の負荷が少なく、理想的には通常のコピーがシャットダウンされる保守ウィンドウ内で行うことをお勧めします。
- バージョン 10.0 にアップグレードしている場合、バージョン 10.0 で導入された新しい **Vertica** データベース スキーマに既存データがマイグレートされます。このアップグレード後のデータ移行タスクは、**Multi-Port Monitor** 上の負荷が少ない方が早く完了します。合理的な時間内に完了するには、50 億を超えるデータベース行がマイグレートされないようにします。
  - この制限を超える日単位パーティションは、データベースの行が 50 億を下回るまで古いものから順にパージされます。
  - 典型的な処理負荷を持つ **Multi-Port Monitor** の場合、データマイグレーションは 8 ~16 時間以内に完了します。負荷が高い場合、データマイグレーションは 24 時間以内に完了します。

**Multi-Port Monitor** のアップグレード処理では、**Multi-Port Monitor** 上の **SNMP** 設定ファイル (`/etc/snmp/snmpd.conf`) を置き換えます。このファイルを以前に編集して、たとえば、**Multi-Port Monitor** によって **SNMP** トラップメッセージが送信されるコミュニティ文字列を変更している場合は、アップグレード後にこの変更を手動でリストアする必要があります。

## オペレーティング システムのアップグレード

MTP バージョン 10.0 からアップグレードしている場合、MTP バージョン 10.1 用に CentOS 5.11 にアップグレードすることができます。

以下の手順に従って、MTP 10.1 用の **CentOS 5.11** にアップグレードします。

1. Web インターフェースの **[環境管理]** - **[Upgrade]** をクリックします。
2. **[Browse]** をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
3. `MTP-10.1.xxxxxxx-CentOS_5.11-upgrade.tgz` を選択します。

`MTP-10.1.xxxxxxx-CentOS_5.11-upgrade.tgz` は大きなファイルです。**Multi-Port Monitor** アプライアンスへのアップロードには長時間かかる場合があります。



4. [開く] をクリックします。
5. [Upgrade] をクリックします。

Multi-Port Monitor によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

注:

- アップグレード ページから移動しないでください。
- アップグレードが完了すると、アップグレードプロセスにより Multi-Port Monitor アプライアンスが再起動します。

10.0 より前の MTP バージョンからアップグレードしている場合は、以下の手順に従ってアプライアンスのオペレーティング システムを CentOS 5.9 にアップグレードし、次に CentOS 5.11 にアップグレードします。Multi-Port Monitor バージョン 2.1、2.2、または 9.2 からアップグレードしている場合は、CentOS 5.9 に直接アップグレードし、次に MTP 10.1 に対して必要な CentOS 5.11 にアップグレードします。

**重要:** Multi-Port Monitor は、オペレーティング システムのアップグレード中はトラフィックを監視しません。

CentOS 5.9 (CentOS 5.11 の前提条件)にアップグレードするには、以下の手順に従います。

1. Web インターフェースの [環境管理] - [Upgrade] をクリックします。
2. [Browse] をクリックし、アップグレードファイルを保存した場所へ移動します。
3. MTP-10.0.xxxxxxx-CentOS\_5.9-upgrade.tgz を選択します。

MTP-10.0.xxxxxxx-CentOS\_5.9-upgrade.tgz は大きなファイルです。Multi-Port Monitor アプライアンスへのアップロードには長時間かかる場合があります。

4. [開く] をクリックします。
5. [Upgrade] をクリックします。

Multi-Port Monitor によってファイル形式が検証されてから、アップグレードが開始されます。メッセージにアップグレードの進捗状況が表示されます。

注:

- アップグレードページから移動しないでください。
- アップグレードが完了すると、アップグレードプロセスにより Multi-Port Monitor アプライアンスが再起動します。

## アップグレードの成功の確認

この手順を使用して、アップグレードプロセスが成功したことを確認します。

以下の手順に従います。

1. Web ブラウザを開き、Web ブラウザのキャッシュをクリアします。
  - a. [ツール] - [閲覧の履歴の削除] をクリックします。
  - b. 以下のオプションを選択します。
    - お気に入り Web サイトデータを保持する
    - インターネット一時ファイル
    - Cookie
    - 履歴
  - c. [削除] をクリックします。
2. Web ブラウザを閉じます。
3. 再度 Web ブラウザを開き、Multi-Port Monitor Web インターフェースに移動します。

4. ログインします。

アップグレードが成功すると、30分以内に新しいデータが[分析]ページに表示されます。

注: アップグレードが成功しない場合は、[CA テクニカルサポート](#)にお問い合わせください。